

授業科目		教育課程ナンバー		時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
セルフケア支援論演習		BNNSS4E37		30902	2後	1(30)	必修
担当教員	中島 優子	実務歴	有	看護師として病院に11年勤務			
担当教員	中森 美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務			
担当教員	今堀 智恵子	実務歴	有	看護師として病院に26年勤務			
担当教員	宇多 雅	実務歴	有	看護師として病院に17年勤務			
概要	セルフケア支援論の講義をもとに、主要な慢性疾患の事例をもとに、演習形式で講義を展開する。慢性の病をもって生きる人の事例の看護過程を展開し、療養上の問題の解決に必要な論理的思考力を養う。また、慢性の病をもって生きる人とその家族の療養生活・セルフケアを支援していくために必要とされる健康教育などの基礎的な看護技術について学ぶ。さらに、看護実践にむけて、対象の機能障害や生活背景等に合わせて応用できる思考力を養う。						
学修目標	1)慢性の病をもって生きる人と家族の特徴をふまえて、慢性の病をもって生きる人とその家族の療養生活がイメージできる。 2)慢性の病をもって生きる人と家族の特徴をふまえて、事例に応じた看護過程を展開できる。 3)慢性の病をもって生きる人の療養生活・セルフケアを支援していくために必要とされる基本的な看護技術が実践できる。 4)慢性の病をもって生きる人の特徴をふまえて、療養生活・セルフケアを支援していくために必要な看護技術の留意点や工夫を説明できる。 5)慢性の病をもって生きる人と家族の特徴をふまえて、療養生活・セルフケアを支援していくために必要な看護について、意見交換できる。						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力		
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎	
回	学修内容			予習・復習内容			
1	慢性の病をもって生きる人とその家族の療養生活の特徴			予習:慢性の病をもって生きる人とその家族の身体的、心理的、社会的特徴について具体的にまとめ、述べられるようにしておく。復習:テキストの本時に関係する部分を読み、知識を整理する。			
2	慢性の病をもって生きる人とその家族の療養生活をアセスメントする視点			予習:提示した事例の療養生活を捉えるために必要な視点について具体的に考え、まとめておく。また、主観的データと客観的データの違いについて調べておく。復習:テキストの本時に関係する部分を読み、知識を整理する。			
3	慢性の病をもって生きる人の看護過程の展開①:看護過程の基礎知識とゴードンの機能的健康パターンに沿ったアセスメントの視点			予習:事例を読み、関連知識(事例の病態生理・治療と看護の要点等)についてまとめる。また、看護過程の各段階やゴードンの機能的健康パターンについてまとめておく。復習:ゴードンの機能的パターンに沿ったアセスメントの視点を整理する。			
4	慢性の病をもって生きる人の看護過程の展開②:情報の整理・解釈・分析			予習:情報の解釈・分析ができるように、必要な知識(解釈・分析の仕方など)をまとめる。復習:事例の情報の整理・解釈・分析を完成する。			
5	慢性の病をもって生きる人の看護過程の展開③:情報の整理・解釈・分析/事例の病態関連図						
6	慢性の病をもって生きる人の看護過程の展開④:関連図(事例の全体像の関連図)			予習:事例の一般的な病態関連図を完成しておく。復習:事例の全体像の関連図を完成する。			

7	慢性の病をもって生きる人の看護過程の展開⑤:看護診断・問題リスト	予習:看護診断にあたって必要な既習の知識(共同問題と看護問題の違い、優先順位のつけ方など)をまとめる。復習:事例の看護診断を問題リストに整理し完成する。
8	慢性の病をもって生きる人の看護過程の展開⑥:看護計画	予習:看護計画立案にあたって必要な既習の知識(目標の設定の原則、OP,TP,EPの違いなど)をまとめる。 復習:看護計画を完成する。
9	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされる看護技術①: 看護技術演習:自己血糖測定	予習:低血糖とその看護についてまとめる。自己血糖測定・インスリン自己注射の動画を視聴し、実践できるように手順や留意点等を確認する。また、それぞれを実施する際の安全・安楽・自立について考える。復習:テキストの本時に関係する部分を読み、知識を整理する。
10	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされる看護技術②: 看護技術演習:インスリン自己注射	
11	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされる看護技術③: 看護技術演習:自己血糖測定とインスリン自己注射が必要な人への看護(学びの発表とまとめ)	
12	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされる看護技術④: 看護技術演習:慢性疾患患者への患者教育(具体的な介入計画)	予習:患者教育に関連する理論や概念(自己効力感、保健信念モデル、セルフマネジメント、セルフモニタリングなど)について、定義や内容をまとめる。また、担当する患者教育に関する基礎知識を確認する。その後、担当する患者教育について、具体的な内容や配慮等について、ワークシートに記載し準備する。復習:テキストの本時に関係する部分を読み、知識を整理する。
13	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされる看護技術⑤: 看護技術演習:慢性疾患患者への患者教育(ロールプレイ)	
14	慢性の病をもって生きる人の支援に必要とされる看護技術⑥: 看護技術演習:慢性疾患患者への患者教育(学びの発表とまとめ)	
15	慢性の病をもって生きる人とその家族の療養生活・セルフケアを支援するために必要な看護の要点と看護師の役割/まとめ	第14回までをふまえ、慢性の病をもって生きる人とその家族に必要な看護の要点と看護師の役割について、根拠をもって自分の考えが説明できるようにしておく。
使用テキスト	セルフケア支援論に準ずる。主に、以下のテキストを使用する。 ①新体系看護学全書 経過別成人看護学③ 慢性期看護 第1版 メヂカルフレンド社 ②系統看護学講座専門Ⅱ内分泌・代謝 成人看護学⑥ 第15版 医学書院 ③看護実践のための根拠がわかる成人看護技術 慢性看護 第2版 メヂカルフレンド社 他、必要に応じて資料配布	
参考図書	①「NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020」原著第11版 医学書院。 ②ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 第6版 ニューベルヒロカワ。 ③その他、セルフケア支援論に準ずる	
成績評価基準	授業への参画度およびレポート課題:30% 定期試験:70%	